

圭陵会FAXニュース

発行所：岩手医科大学圭陵会
 発行人：石川 育成 編集人：酒井 明夫
 連絡先：TEL 019-624-8386 FAX 019-624-8380
 E-mail: info@keiryokai.gr.jp

第21号内容
 ・災害医療の拠点新設
 13年度目標 沿岸病院も支援
 岩手医大

岩手日報 H24.4.4

岩手医大

災害医療の拠点新設

13年度 沿岸病院も支援

岩手医大(小川彰理 理事長)は、矢巾町の同大矢巾キャンパス北側に災害時地域医療支援教育センターを建設する。災害医療の研究・教育を行い、災害時には全国から駆け付ける医療支援チームの派遣調整などの役割を担う。沿岸病院の患者情報のバックアップ体制構築も行う予定。東日本大震災の教訓を生か

した災害に強い医療を研究、実践する拠点として2013年度の開設を目指す。免震構造の4階建てで、総面積約9400平方メートルの施設を建設し、その半分が同センターとなる予定。今月着工し、13年度から運用を開始する。国からの補助も受け、事業費は二十数億円となる見込み。

今回の震災では沿岸の13病院が被災。津波被害を直接受け、カルテを流失した病院もあった。そのため、同センターでは県立病院などと連携し、沿岸部の病院の患者情報のバックアップを計画。病院が被災しても患者の病歴などの情報が失われることなく、その後の診療に素早くつながられる体制構築を行う方針だ。

災害時には全国から支援に駆け付ける医療チームを被災地の病院や避難所などに派遣する調整役を担うことも想定。今後、県などとも体的な検討を進める。同大は今年、災害医学講座と災害地域精神医学講座を新設した。同センター完成後は同講座の拠点とし、同大の教員が医学生らへの災害医療教育なども行う。また、震災で被災した住民の心のケアの中核施設としての機能も持ち、将来的には子ども心のケアの拠点も設ける考えだ。

小川理事長は「災害時に対応した医療体制の構築と実践の拠点となる。岩手の災害医療の取り組みを一つのモデルとして全国に発信していく」と話す。

圭陵会FAXニュース

圭陵会ホームページよりPDF形式でダウンロード頂けます。
 ■圭陵会ホームページアドレス <http://www.keiryokai.gr.jp>